

NPO 法人 口から食べる幸せを守る会 主催

食事サポーター講座

2024年は
桐生市で
開催!!

医療・福祉関係者だけでなく一般の方や学生など
どなたでも参加可能です

日時 1回目 5月26日(日)
2回目 6月16日(日)
3回目 7月14日(日)

14時～16時30分

*内容は同じです(1回の参加でも複数回の参加でも可能)

受付時間 13時30分～

会場 桐生厚生総合病院 2階 講堂
(〒376-0024 桐生市織姫町6-3)

*会場への直接のお問合せはご遠慮ください。

募集人数 各日程とも30名

*定員になりしだい締め切りとさせていただきます

参加費 2,500円(テキストとKTスプーン付き)

*学生とテキストある方は1,500円

申し込み方法 syokusapo.g@gmail.com

*このメールアドレスまたは二次元コードからお申し込みください。

件名「食事サポーター講座申し込み ○月○日」

所属・職種・電話番号・PCアドレスをご記載ください

*携帯アドレスの場合はGmailが受け取れる設定にしてください

プログラム 裏面を参照してください

食事サポーターインストラクター

劔持 君代(看護師:原町赤十字病院)

小林 司(歯科医師:小林歯科クリニック)

岡田 克之(医師:桐生厚生総合病院)



看護師と歯科医師と医師と一緒に食事介助について考えてみましょう



食事サポーター講座概要



「むせるから食事介助がこわい!」「どうしてむせるのだろう?」「誤嚥性肺炎になるから食べさせるのはやめようか?」そんな声を病院や介護の現場で耳にします。実はちょっとした工夫で、安全で安楽な食事摂取や食事介助ができるのです。この講座では、食べることに必要な基礎的な講義と基本的な食事介助の実習を行います。口から食べることは、健康寿命の延伸、介護予防の助け、フレイル対策、子どもたちの成長発達などに有用であり、医療費や介護費の削減につながります。ぜひ多くの方に受講していただくことを願っております。

*この講座で使用する標準テキストは、口から食べることが困難な人たちをサポートできる人(=食事サポーター)を増やしたい!そんな思いから、有志で作成したものです。

講座内容

第1章 講義	口から食べることで知っておきたい知識
第2章 ハンズオン	これだけは守ってほしい食事介助のポイント
第3章 講義	口から食べ続けるために必要な包括的知識 食べるサポートを受けたいときどうするの

≪講師紹介≫

剣持 君代 原町赤十字病院訪問看護ステーション 看護師
 摂食・嚥下障害看護認定看護師/日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士/NPO 法人口から食べる幸せを守る会実技認定者・食事サポーターインストラクター
 1992年獨協医科大学付属看護専門学校卒業。NICU、消化器内科回復期リハビリテーション 小規模多機能 介護医療院を経て2022年より現職

小林 司 小林歯科クリニック 院長
 NPO 法人口から食べる幸せを守る会食事サポーターインストラクター
 1987年日本大学歯学部卒業、同年日本大学歯学部補綴学教室クラウンブリッジ学講座入局。1991年小林歯科医院勤務。
 2006年より現職

岡田 克之 桐生厚生総合病院 副院長/皮膚科診療部長
 NPO 法人口から食べる幸せを守る会食事サポーターインストラクター
 群馬大学医学部卒業、1992年同皮膚科入局、1997年同大学院修了(医学博士)。1998年桐生厚生総合病院皮膚科赴任、現在に至る。日本皮膚科学会専門医、日本臨床皮膚科医会群馬県支部長、日本栄養治療学会代議員・学術評議員・認定医、日本褥瘡学会群馬支部長・在宅ケア推進協会理事、群馬大学医学部臨床准教授、桐生市医師会理事。

≪注意事項≫

- ◆ 感染対策はとして定期的な換気を行っておりますが、皆さまそれぞれでご注意をお願いいたします。対面していない状況、会話のない聴講中は、マスクの着用を不要です。
- ◆ 水分補給のため、お飲み物をご用意いただき、必要に応じてお飲みください。
- ◆ 第2章ハンズオンセミナーでは、対面の形式はとりません。手指消毒薬、手袋、ゴミ袋等は主催者が準備いたします。
- ◆ 講座中は、携帯電話の電源はお切りいただくか、マナーモードをお願いいたします。
- ◆ 講座中の写真や動画撮影はご遠慮ください。なお、記録のために主催者が撮影することはご了承ください。ホームページに掲載することがございます。

